

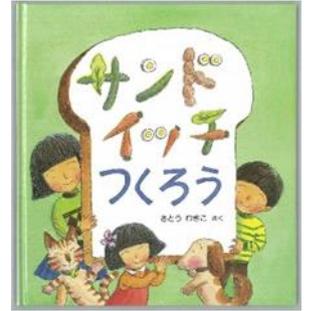
# 絵本の紹介

3歳以上児の先生が選ぶ、各クラスでおすすめの本を紹介します。

## 【にじぐみ】

「サンドイッチつくろう」 さく：さとう わきこ

食べることが大好きなにじ組さん。ページをめくるたびにいろいろな食材が出てくるので、指をさして「たまご!」「パン!」と教えてくれます。ゆで卵やポテトサラダを作る場面では、じっと見つめてまるで作り方を覚えようとしているかのようです! お家で作ったことがある子もいるようで、様々な食材の名前が聞かれます。“すきなように のせて、すきなように はさんで”という台詞があり、好きな食材を教えてくれたり「美味しそう!」と言う声が聞かれたりし、保育者や友達とのやりとりを楽しむ姿も見られます。お休みの日など、お家でも好きなものに乗せたり挟んだりして一緒にサンドイッチを作って食べてみるのも良いかもしれませんね。



## 【ほしぐみ】

「くれよんのくろくん」 さく・え なかや みわ

クレヨンケースから次々にクレヨンが飛び出し紙に絵が描かれていくのですが、それぞれが好きなように描いているのでぐちゃぐちゃの絵が出来上がり困ったクレヨン達。そこへシャープペンと黒クレヨンが飛び出しぐちゃぐちゃになった絵の上は真っ黒に塗りつぶされてしまいました。クレヨン達は大怒りですが、最後はその上からシャープペンではなびの形に削られ綺麗なスクラッチになり皆で仲良く仲直りをしたというお話です。クレヨンが飛び出すという物語もユニークで面白いですが、クレヨンを仲間に置きかえると皆違って皆良いということやそれぞれの良さがあるということを感じられ、おすすめです!



## 【そらぐみ】

「ミロとまほうのいし」 さく：マーカス・フィスター やく：谷川俊太郎

子どもたちが好きな「にじいろのさかな」の絵本と同じ作家のお話です。表紙だけでなく絵本の中にも、話の中心となる金色の石がとても魅力的に描かれています。

ある島に住むミロが見つけたとても綺麗で不思議な力をもつ特別な石。周りの皆も欲しくなり、ミロと一緒に探しに出かけます。しかし、その特別な石は島のもの。年寄ねずみから「何か取ったら島にお返しをしなければいけない」と言われ、次ページからは「しあわせなおわり」と「かなしいおわり」のどちらかを選択して読み進めます。どちらの結末も、読み終わったときになにか深く考えさせられるお話です。少し難しい内容かもしれませんが、お子さんと絵本の感想を話し合う時間も楽しんでいただければと思います。

